

会 議 記 録			
会議の名称		環境市民厚生常任委員会	会議場所 全員協議会室
			担当職員 福沢
日 時	令和6年12月16日（月曜日）	開 議	午前10時00分
		閉 議	午後 3時23分
出席委員	◎大石 ○梅本 大西 土岐 富谷 大塚 平本 西口		
理事者出席者	【市立病院】田中病院事業管理者、土岐部長 【病院総務課】岡田課長、巻田管理係長 【こども未来部】中川部長、宅間本梅こども園長、中村母子事業担当課長 【子育て支援課】加藤課長、西村子どもファースト推進係長、白崎こども給付係長 【こども家庭課】松本課長、藤田こども支援係長 【保育課】原田課長、西川保育政策係長、谷幼稚園係長 【環境先進都市推進部】山内部長 【環境政策課】鈴木課長、山城環境政策係長 【資源循環推進課長】西田課長、明田副課長、名倉副課長、曾我部主幹、木村埋立施設係長 【健康福祉部】亀井部長 【地域福祉課】田端課長 【障がい福祉課】西山課長、伊藤副課長 【高齢福祉課】鈴木課長、藤谷副課長、八田副課長 【健康増進課】中山課長、平井副課長 【市民生活部】谷口部長 【保険医療課】阿比留課長 【税務課】樋口課長、上澤副課長、中川市民税係長、藤田収納係長		
事務局	吉田事務局長、福沢主査		
傍聴者	市民1名	報道関係者1名	議員6名（小林、片山、浅田、木村福井、菱田）

会 議 の 概 要

1 開 議

2 議案審査

〔理事者入室〕市立病院

（１）第5号議案 令和6年度亀岡市立病院事業会計補正予算（第1号）

<病院事業管理者>

（あいさつ）

<病院総務課長>

（資料に基づき説明）

～10：09

〔質疑〕

<平本委員>

物価高騰による給食費への影響は。

<病院総務課長>

入札時の食材費高騰を想定し、債務負担の限度額を積算している。

<大西委員>

病院内の空調について、冷暖房の切り替え時期に起きる不快感への対策は。

<病院総務課長>

集中管理型のシステムを使用しており、切り替えに苦慮しているが、管理会社と連携し天候に合わせた配慮に努める。

<西口委員>

ふるさと納税を活用した医療機器整備の考え方と、先進的機器の導入についての考え方は。

<病院総務課長>

危機は緊急性や重要度を判断し計画的に更新している。また、先進的医療については、病院長と相談し、方向性を検討したい。

<富谷委員>

医療機器の入手状況や価格高騰の影響はどうか。

<病院事業管理者>

世界情勢により、入手困難なものや高騰しているものがある。大型機器は更新済みであるが、モニターやベッドなど、基礎的な設備の計画的な更新が必要である。

<土岐委員>

病室のテレビが古くなっているが更新状況は。

<病院総務課長>

業者によるレンタルシステムだが要望として伝えていく。

<大塚委員>

夜間診療の拡充に伴うコスト増に対して、どのような工夫を行っているのか。

<病院総務課長>

勤務シフトの変更などにより、超過勤務を抑え、コストを抑えつつ市民福祉を向上させる工夫を行っている。

<平本委員>

市立病院が開院して20年経過したが、施設の大規模改修を行う見通しは。

<病院管理部長>

建設時の起債の償還が終わる30年目を目途に、防水・外壁などを含めた大規模改修を考えている。

<平本委員>

ESCO事業を導入してはどうか。

<病院管理部長>

CO2削減や環境の観点からも、更新時に選択肢として検討したい。

[理事者退室] 市立病院

[理事者入室] こども未来部、健康福祉部

(1) 第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

<こども未来部長>

(あいさつ)

<各所管課長>

(資料に基づき説明)

～10:54

[質疑]

<富谷委員>

母子生活支援施設の入所理由や入所期間の現状は。

<こども家庭課長>

新規はDV案件である。入所期間は個々の状況によるが、概ね2年程度で自立されるケースもある。

<大塚委員>

福祉医療・子こども医療のレセプト審査手数料が増加している理由は。

<子育て支援課長>

制度拡充により、高校生年代まで対象が広がったことで、レセプト件数が大幅に増加したためである。

<西口委員>

母子生活支援施設からの退所タイミングの判断と支援の在り方についての考えは。

<こども家庭課長>

施設の意向だけではなく、母子の自立と安定を最優先に市としても適切に連携・対応している。

<大西委員>

入所件数の傾向と施設の所在地はどうか。

<こども家庭課長>

今年は急増した。DV対策など安全確保のため、多くは市外の施設に入所している。

<西口委員>

こども宅食事業から虐待・DVの情報収集につながった案件はあるのか。

<こども家庭課長>

直接つながったケースはないが、事業者を通じて状況確認を行っている。

(2) 第8号議案 亀岡市乳幼児教育センター条例の制定について

<保育課長>

(資料に基づき説明)

～11:20

[質疑]

<土岐委員>

発達検査の具体的な内容や項目は。

<保育課長>

改めて資料を提供し、個別に詳細を説明させていただく。

<大西委員>

亀岡市乳幼児教育センターを開設することは、発達検査の円滑化につながるのか。

<健康福祉部長>

臨床心理士などの専門職員を雇用し、全施設への訪問支援や検査後の保育所・学校への連携を強化する。

[理事者退室] こども未来部、健康福祉部

[理事者入室] 環境先進都市推進部

(1) 第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

<環境先進都市推進部長>

(あいさつ)

<各所管課長>

(資料に基づき説明)

～ 11 : 34

[質疑]

<平本委員>

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金の申請を行うにあたり、事前申請や写真撮影の要件については、柔軟に対応することはできないのか。

<環境政策課長>

事務処理を迅速化し、現状の課題を踏まえて申請方法の検討を進める。

<平本委員>

指定ごみ袋がちぎれやすい。強度を改善する考えは。

<資源循環推進課長>

厚みを0.03ミリメートルから0.04ミリメートルへ変更し、持ち手部分の形状を円形に改良する予定である。

<梅本副委員長>

単身世帯向けに、さらに小さいサイズのごみ袋を作成する考えは。

<資源循環推進課長>

作成経費やニーズを把握し、今後検討していきたい。

<平本委員>

地域猫活動を啓発する考えは。

<環境政策課長>

保健所と連携し、他市の事例も参考にしながら対応を検討する。

<西口委員>

野良猫への餌付けによるトラブルにはどのように対応しているのか。

<環境政策課長>

苦情があれば保健所と現場へ行き、飼育状況に応じた指導を行っている。

[理事者退室] 環境先進都市推進部

<休 憩 11:50~13:00>

[理事者入室] 健康福祉部

(1) 第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<各所管課長>

(資料に基づき説明)

~13:12

[質疑]

<富谷委員>

介護保険事業特別会計繰出金の増額について、施設サービスと居宅サービスなどの内訳は。

<高齢福祉課長>

居宅介護サービス給付費が1億8,000万円、施設介護サービス費が6,000万円、居宅介護サービス計画給付費が3,500万円であり、合計で2億8,740万円が保険給付費に係る補正額である。

(2) 第2号議案 令和6年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

<高齢福祉課長>

(資料に基づき説明)

~13:24

[質疑なし]

(3) 第15号議案 ふれあいプラザに係る指定管理者の指定について

<地域福祉課長>

(資料に基づき説明)

~13:25

[質疑なし]

[理事者退室] 健康福祉部

3 討 論~採 決

[討論なし]

[採決]

第 1 号議案	挙手	全員	可決
第 2 号議案	挙手	全員	可決
第 5 号議案	挙手	全員	可決
第 8 号議案	挙手	全員	可決
第 15 号議案	挙手	全員	可決

[指摘要望事項なし]

4 陳情・要望について

(1) 令和6年度国民健康保険に関する要望書について

<大石委員長>

当常任委員会所管の陳情が1件提出されている。「令和6年度国民健康保険に関する要望書について」を議題とする。この陳情は、令和6年9月20日付けで郵送受理したものであるが、どのように取り扱うか意見はあるか。

<平本委員>

郵送受理したものなので、先例・申合せに基づき、聞き置く程度としてはどうか。

<大石委員長>

それでは、本件については貴重な意見として聞き置くこととし、今後の委員会活動の参考としたいと思うが、そのような取り扱いとしてよいか。

— 全員了 —

<大石委員長>

そのように取り扱うこととする。

5 議会だよりの掲載事項について

<大石委員長>

議会だよりの掲載事項について、意見はあるか。

<土岐委員>

「かめおか乳幼児教育センター」を掲載してはどうか。

<平本委員>

企業版ふるさと納税の寄付金を活用して亀岡市立病院の医療機器を購入する記事を掲載してはどうか。

<西口委員>

意見の出ている2項目を掲載でよいと思う。医療機器の購入や更新により、病院の診療体制が充実し、安定した医療サービスが受けられるようになるこ

とを強調して記載してはどうか。

<大塚委員>

意見の出ている2項目の内容を掲載することに賛同する。

<大石委員長>

亀岡市病院事業会計補正予算の企業版ふるさと納税を活用しての医療機器の購入や更新、条例としてかめおか乳幼児教育センター開設に関する内容を掲載することとしてよいか。

— 全員了 —

6 行政報告

[理事者入室] こども未来部

(1) 第3期亀岡市子ども・子育て支援事業計画の策定について

<こども未来部長>

(あいさつ)

<子育て支援課長>

(資料に基づき説明)

～ 14 : 12

[質疑]

<西口委員>

大変素晴らしい内容である。他市町からも羨まれる施策であり、SNS などあらゆる機会を通じてしっかり発信していただきたいがそれに対する考えはあるのか。

<こども未来部長>

パブリックコメントも実施するため、市民の意見を聞きながら、また、市からの情報発信も意識しながら、他市町へのアピールも含めて丁寧に取り組んでいきたい。

<冨谷委員>

新規事業の子育て世帯訪問支援事業は具体的にどのような内容か。

<こども家庭課長>

高齢者でいうホームヘルプサービスのようなイメージである。既存の事業者に委託し、家事や育児の支援を行う。今年度から2年間のパイロット事業として実施しており、本市にマッチする方法を検討する。

<大西委員>

アンケートで高校生の2割が誰にも相談したくないと回答している点について、ヤングケアラーなどの問題も含め、市としてどのように対応されるのか。

<こども家庭課長>

京都府の取組と連携しつつ、市としても子どもたちの声が拾える場づくりを進めたい。

<大西委員>

こども誰でも通園制度について、保育士の確保という課題にはどのように取り組

まれるのか。

<保育課長>

国の法律で令和８年度から実施が決まっており、子どもの権利保障や保護者支援に有益な事業である。保育士確保策を重点的に進めて体制を整え、人材確保に努めていきたい。

<大塚委員>

新規６事業に優先順位はあるのか。

<こども家庭課長>

優先順位をつけるのではなく、実施基盤が整ったものから順次本格実施に向け取り組んでいく。

<富谷委員>

児童育成支援拠点事業の現状と場所は。

<こども家庭課長>

現在は児童育成支援拠点は存在していない。児童の送迎や食事、学習支援などを行うデイサービスのようなイメージだが、専門人材の確保やスティグマの解消など課題が多く、慎重に検討する必要がある。

<大塚委員>

児童育成支援拠点事業の対象となるのは、どのような子どもなのか。長時間就労や虐待リスクのある家庭が対象か。また、放課後児童クラブとの切り分けはどうか。

<こども家庭課長>

既存事業では対応しきれない養育困難や長時間就労、虐待リスクのある家庭など、困難さを抱える家庭が対象となる。既存事業を活かしつつ、既存の放課後児童クラブなどとの切り分けを含め本市に合った形を慎重に検討する。

<平本委員>

訪問支援事業について、以前提案した買い物支援などの内容も含まれるのか。

<こども家庭課長>

限られた資源の中でのバランスを考慮しつつ、パイロット事業を通じて発展させていきたい。

[理事者退室] こども未来部

[理事者入室] 環境先進都市推進部

(１) リユースサービス「おいくら」との連携について

<環境先進都市推進部長>

(あいさつ)

<資源循環推進課長>

(資料に基づき説明)

～ 14 : 43

[質疑]

<土岐委員>

市が行うのは広報のみか。

<資源循環推進課長>

その通りである。

<大西委員>

他サービスではなく「おいくら」を選んだ理由はなぜか。

<資源循環推進課長>

個人間取引ではなく店舗との取引であるため、トラブルを回避できる点が大きいためである。

<富谷委員>

加盟店はどのくらいあるのか。

<資源循環推進課長>

登録されている加盟店は約730店舗ある。

[理事者退室] 環境先進都市推進部

[理事者入室] 市民生活部

(1) 課税資料の取り扱い及び収納事務について

<市民生活部長>

(あいさつ)

<税務課長>

(資料に基づき説明)

～14:50

[質疑]

<平本委員>

回送漏れの原因は。

<税務課長>

担当者のパソコン処理の失念である。

<平本委員>

人手は足りているのか。繁忙期だけ人員を補ってもらうことはできないのか。

<税務課長>

繁忙期には会計年度任用職員を雇用するが、専門知識が必要な業務も多いため、既存職員のスキル向上を図り対応していきたい。

<土岐委員>

システムのミス防止策はないのか。

<税務課長>

大半がパソコン業務であるが、指示を出すのは人間であるため、最終的には人の目による確認が必要である。

<西口委員>

担当者のモチベーションにも配慮し、ミスを恐れず業務に励めるよう配慮していただきたい。

<梅本委員>

リスクアセスメントの考え方を取り入れているか。

<税務課長>

今回の件を受け、業務が他分野に与える影響を改めて検証した。

[理事者退室] 市民生活部

7 その他

<大石委員長>

次回の月例は1月22日午前10時から開催することとし、次回の委員会は、12月20日（金）午前10時から委員長報告の確認を行う。

散会 ～15：23